



宮原良治司教認可
発行所 福岡司教区本部
福岡市中央区浄水通6-28
発行 人
カトリック福岡司教区三
編集人 森山信三
TEL 092-522-4059
FAX 092-523-2152
振替口座 01760-6-20729
カトリック福岡司教区
定価 一部60円

1月の意向

教皇様の意向のために祈りましょう
【一般】自然災害の被災者
【宣教】平和のための奉獻
【日本の教会】エキユメニズムの推進

2012年
年頭挨拶

『救いの秘儀を知り、追体験し、生き、伝える』再び
信仰生涯学習の第2年目として取り組もう



主イエス・キリストからの恵みと平和が、新しい年も皆様の心に豊かにありますように！

の心を表明しました。皆様の協力に心から感謝申し上げます。

さて、昨年の福岡教区の優先課題は、『救いの秘儀を①知り(信仰生涯学習)、②追体験し(典礼祭儀の充実)、③生き(家庭と社会生活での実践)、④伝える(福音化)』でした。

『信仰生涯学習・元年』にすむことを目指して励んでまいりました。先般の『教区の日』の集いでは、各小教区での具体的な取り組みが報告されました。

『信仰生涯学習・元年』にすむことを目指して励んでまいりました。先般の『教区の日』の集いでは、各小教区での具体的な取り組みが報告されました。

『信仰生涯学習・元年』にすむことを目指して励んでまいりました。先般の『教区の日』の集いでは、各小教区での具体的な取り組みが報告されました。

『信仰生涯学習・元年』にすむことを目指して励んでまいりました。先般の『教区の日』の集いでは、各小教区での具体的な取り組みが報告されました。

『信仰生涯学習・元年』にすむことを目指して励んでまいりました。先般の『教区の日』の集いでは、各小教区での具体的な取り組みが報告されました。

【昨年の取り組みに感謝】
昨年、福岡教区では、東日本大震災に際して、「被災者支援室」を立ち上げ、被災された方々に心を向けながら、慈しみ深い神様に御手を差し伸べて下さるよう祈り、一日

【今年の目標】
新しい年の福岡教区の優先課題は、昨年と同様に、『救いの秘儀を①知り(信仰生涯学習)、②追体験し(典礼祭儀の充実)、③生き(家庭と社会生活での実践)、④伝える(福音化)』を繰り返しますが、特にその中の、『①キリストの救いの秘儀を学ぶ』というところに再び焦点を絞って、『信仰生涯学習の第2年目』の取り組みに励みたいと思っております。

【今年に向けて】
昨年同様、各小教区で、全員が参加できるような「学ぶ機会」を工夫して実践して下さい。既に具体的な実践に取り組んでいる教会も、更なる継続と充実を目指して励んで下さるなら幸いです。

【今年に向けて】
昨年同様、各小教区で、全員が参加できるような「学ぶ機会」を工夫して実践して下さい。既に具体的な実践に取り組んでいる教会も、更なる継続と充実を目指して励んで下さるなら幸いです。

【今年に向けて】
昨年同様、各小教区で、全員が参加できるような「学ぶ機会」を工夫して実践して下さい。既に具体的な実践に取り組んでいる教会も、更なる継続と充実を目指して励んで下さるなら幸いです。

【今年に向けて】
昨年同様、各小教区で、全員が参加できるような「学ぶ機会」を工夫して実践して下さい。既に具体的な実践に取り組んでいる教会も、更なる継続と充実を目指して励んで下さるなら幸いです。

【今年に向けて】
昨年同様、各小教区で、全員が参加できるような「学ぶ機会」を工夫して実践して下さい。既に具体的な実践に取り組んでいる教会も、更なる継続と充実を目指して励んで下さるなら幸いです。

【今年に向けて】
昨年同様、各小教区で、全員が参加できるような「学ぶ機会」を工夫して実践して下さい。既に具体的な実践に取り組んでいる教会も、更なる継続と充実を目指して励んで下さるなら幸いです。

長崎教会管区ボランティア施設
カリタスジャパン大槌ベースキャンプ開所



ボランティア・支援金を募集しています。
対象：長期・短期滞在・様々な専門職など
資格：健康に自信のある方、善意の方、家庭的雰囲気を守れる方、共同生活のルールを守れる方
連絡先：福岡教区災害支援室 担当：松井忠之神父
Mail: cdf-curia01@mbe.nifty.com ☎ 092-522-5138
支援金口座：福岡中央銀行(平尾支店) (普) 1076206
(宗) カトリック福岡司教区 代表役員 宮原良治

【信仰年】開催の中で
教皇ベネディクト16世は、福岡教区のような取り組み

教皇ベネディクト16世は、福岡教区のような取り組み
中、2012年10月11日が、『第2バチカン公会議』開幕日の50周年、及び『カトリック教会のカテキズム』発行20

【日本26殉教者列聖
150周年の中で】
150年前の1862年(江戸幕府の末期)、まだキリスト教への禁教が国策として継続し、迫害と弾圧の大嵐が吹き荒れる中、パリ外国宣教会の宣教師によって横浜に日本再宣教のための最初の教会が献堂されました。

【最後に】
神様に会い、神様を体験し、神様との交わりの中で生きていく。それは祈りにつながる。人ごとではなく、自分にも起こり得ることとして、自分自身の問題としてとらえてみる。相手に共感することを忘れてしまえば、愛することもなくなるだろう。大震災からやがて1年が過ぎようとしていく。被災地から遠ければ遠いほど、その記憶や祈り、援助が遠のいてしまうことは、あり得る。しかし、キリスト者である私たちはそうであってはならないと思う。「とらわれぬ子ども」は、すべての人々の中にあるはずだ。そして「いまあるものを組み直し、つくりかえる」努力は一人ひとりが取り組むべき課題であろう。子どものような新鮮で純粋な眼差しをもって、この1年私たちの周りにあるもの、起こってくる事象を見つめ、判断し、小さな行動を起こそう。人目につくことではなくともよい。自分の小さな行いが誰かのためになると信じ、祈りながら。

【最後に】
神様に会い、神様を体験し、神様との交わりの中で生きていく。それは祈りにつながる。人ごとではなく、自分にも起こり得ることとして、自分自身の問題としてとらえてみる。相手に共感することを忘れてしまえば、愛することもなくなるだろう。大震災からやがて1年が過ぎようとしていく。被災地から遠ければ遠いほど、その記憶や祈り、援助が遠のいてしまうことは、あり得る。しかし、キリスト者である私たちはそうであってはならないと思う。「とらわれぬ子ども」は、すべての人々の中にあるはずだ。そして「いまあるものを組み直し、つくりかえる」努力は一人ひとりが取り組むべき課題であろう。子どものような新鮮で純粋な眼差しをもって、この1年私たちの周りにあるもの、起こってくる事象を見つめ、判断し、小さな行動を起こそう。人目につくことではなくともよい。自分の小さな行いが誰かのためになると信じ、祈りながら。

【最後に】
神様に会い、神様を体験し、神様との交わりの中で生きていく。それは祈りにつながる。人ごとではなく、自分にも起こり得ることとして、自分自身の問題としてとらえてみる。相手に共感することを忘れてしまえば、愛することもなくなるだろう。大震災からやがて1年が過ぎようとしていく。被災地から遠ければ遠いほど、その記憶や祈り、援助が遠のいてしまうことは、あり得る。しかし、キリスト者である私たちはそうであってはならないと思う。「とらわれぬ子ども」は、すべての人々の中にあるはずだ。そして「いまあるものを組み直し、つくりかえる」努力は一人ひとりが取り組むべき課題であろう。子どものような新鮮で純粋な眼差しをもって、この1年私たちの周りにあるもの、起こってくる事象を見つめ、判断し、小さな行動を起こそう。人目につくことではなくともよい。自分の小さな行いが誰かのためになると信じ、祈りながら。

時の話題
中野裕明神父

私は昨年9月から、日本カトリック神学院・福岡キャンパスで養成者として働いています。この神学校にはこれまで本州と九州でそれぞれ使命を果たしてきた東京カトリック神学院と福岡サンズルピス大神学院が三年前に合併して

【日本26殉教者列聖
150周年の中で】
150年前の1862年(江戸幕府の末期)、まだキリスト教への禁教が国策として継続し、迫害と弾圧の大嵐が吹き荒れる中、パリ外国宣教会の宣教師によって横浜に日本再宣教のための最初の教会が献堂されました。

【最後に】
神様に会い、神様を体験し、神様との交わりの中で生きていく。それは祈りにつながる。人ごとではなく、自分にも起こり得ることとして、自分自身の問題としてとらえてみる。相手に共感することを忘れてしまえば、愛することもなくなるだろう。大震災からやがて1年が過ぎようとしていく。被災地から遠ければ遠いほど、その記憶や祈り、援助が遠のいてしまうことは、あり得る。しかし、キリスト者である私たちはそうであってはならないと思う。「とらわれぬ子ども」は、すべての人々の中にあるはずだ。そして「いまあるものを組み直し、つくりかえる」努力は一人ひとりが取り組むべき課題であろう。子どものような新鮮で純粋な眼差しをもって、この1年私たちの周りにあるもの、起こってくる事象を見つめ、判断し、小さな行動を起こそう。人目につくことではなくともよい。自分の小さな行いが誰かのためになると信じ、祈りながら。

新しい年の始めに当たって、昨年の大震災の犠牲になつた方々、いまなお、大きな苦難の中にある方々のために祈りたいと思う。そして失意の中にある方々に私たちが希望の光を注ぐ者になりたいと思う。谷川俊太郎さんの詩にこのようなものがある。「他人のうちに自分と同じ美しさをみとめ、自分のうちに他人と同じ醜さをみとめ・・・とらわれぬ子ども」の魂で、いまあるものを組み直し、つくりかえる。人は、自分が直接体験していないことは、現実としてなかなかその痛みや苦しみを分らない。しかし、相手の気持ちを推し量り、痛みや苦しみを共有することは出来る。それは祈りにつながる。人ごとではなく、自分にも起こり得ることとして、自分自身の問題としてとらえてみる。相手に共感することを忘れてしまえば、愛することもなくなるだろう。大震災からやがて1年が過ぎようとしていく。被災地から遠ければ遠いほど、その記憶や祈り、援助が遠のいてしまうことは、あり得る。しかし、キリスト者である私たちはそうであってはならないと思う。「とらわれぬ子ども」は、すべての人々の中にあるはずだ。そして「いまあるものを組み直し、つくりかえる」努力は一人ひとりが取り組むべき課題であろう。子どものような新鮮で純粋な眼差しをもって、この1年私たちの周りにあるもの、起こってくる事象を見つめ、判断し、小さな行動を起こそう。人目につくことではなくともよい。自分の小さな行いが誰かのためになると信じ、祈りながら。

教皇ベネディクト16世 2012年平和メッセ



今年の平和メッセは、「若者に對する正義と平和の教育」と題され、教皇の若者に対する力強い励ましメッセとなつています。限られた紙面でその豊かな内容をすべて紹介することは出来ませんが、引用された3つの詩編

を中心に教皇の黙想の跡をたどつてみたいと思います。まず教皇は、「わたしはどの様な態度で新年に臨めばよいのでしょうか」と自問して第1の詩編を引用します。「わたしの魂は主を待ち望みます。見張りが朝を待つにもまして」(詩編130:6)。世界的に自然災害の多かつた昨年、また経済危機あるいは中東各地で起こつた多くの反政府運動などを意識しておられるのでしょうか、「このような闇の中にあつても、詩編作者が述べる夜明けを待ち望み続けます。この期待はとくに若者のうち

に生き生きとした姿で見ることが出来ます。そのためわたしの思いは若者と、若者が社会に對してなすべき貢献へと向かいます」と述べられます。次に教育に言及されて、「若者に真理を教育するうえで、何よりもまず必要なのは、人間の人格とは何か、人間性とは何かを知ることで」と述べて2つ目の詩編を引用されます。「あなたの天を、あなたの指のわざをわたしは仰ぎます。月も、星も、あなたが配置なさつたもの。そのあなたがみ心に留めてくださるとは、人間は何ものなのでしょう。」(詩編8:4-5)。

「人間とは何か。これこそが、問うべき根本的な問いです。人間は、心の中に、無限なるものへの渇き、真理への渇きを抱えています。この真理は、部分的な真理ではなく、人生の意味を明らかにできるような真理です。」さらに、いかなることに究極的な価値を認めない相対主義に對して、真の自由とは何かを教えること、すべての人間に備わっている良心に従うことが人格の完成のために不可欠と言われます。そして正義と平和の教育の必要性を述べて、第3の詩編、「目を上げて、わたしは山々を仰ぐ。わたしの助

11月23日(水)司祭、修道者、信徒120人が集い、「福岡教区の日」がカテドラル大名町教会で行われた。宮原司教が昨年の年頭メッセの中で、年間方針とともにその開催を望んだもので、各地区42の小教区から信徒代表や修道会の代表が集つた。



はじめの祈りの後、川上惣一神父(教区主管は、冒頭、教区の日、開催について、その趣旨・目的等、理解を深めながら、司教と私たちの意志疎通を図り、より良い一歩を踏み出すための時間として)と話しした。講演の中で司教は、「教会とは、神が全世界からお集めになる神の民である。この教会は地域共同体に存在し、典礼集会、特にエウカリスティアの集会として現れる。「教会」は神のことばと聖体によって生かされ「キリストのからだ」となつて行く。また「教区」とは、司祭団の協力のもとに司牧するよう司教に委託された神の民の一部分である。

「今年、『キリストの救いの秘儀を学び、追体験し、生き生かし、伝える』この四つの要素を念頭におき、特に「キリストの救いの秘儀を学ぶ」ということに焦点をあて、各小教区で全員が学ぶ機会を工夫して、新しい共同体造りの一歩を踏み出したい。「教区の日」とは、小教区のメンバーが集い、分かち合い、教区民が共通理解のもと、一つのキリストのからだであることを確認して歩みを進める日である。教区全体の活性化に結びつけたいという思いから、この時期に「教区の日」を設定した」と話しした。

講演後は、各地区の代表がそれぞれ、年間テーマからの取り組みを発表した。午後からは各地区での分かち合いの後、ミサが行われ、はじめての「教区の日」を終えた。

「今年、『キリストの救いの秘儀を学び、追体験し、生き生かし、伝える』この四つの要素を念頭におき、特に「キリストの救いの秘儀を学ぶ」ということに焦点をあて、各小教区で全員が学ぶ機会を工夫して、新しい共同体造りの一歩を踏み出したい。「教区の日」とは、小教区のメンバーが集い、分かち合い、教区民が共通理解のもと、一つのキリストのからだであることを確認して歩みを進める日である。教区全体の活性化に結びつけたいという思いから、この時期に「教区の日」を設定した」と話しした。

また、「教区の日」については、「教区全体としての歩みという、見える形で集まれたのはよかつた。継続して行くべきことだと思ふ。今後私たちにできることは何かについて、考える機会となつた」という意見や、「11月には召命の集いもあり、教会総出で出かける機会が何かと多い時期でもあるので時期は変更できないのか」、「結局、この集まりは代表者の集まりになつている。もっと大勢が集えるように場所も時期も再考した方がいいと思ふ。叙階式のように教区民全体が集う性格のある集りが教区の日となるのではないか」などの意見も見られた。

年間テーマを教区民全体に周知するためには、分かりや

第1回 教区の日

一つのキリストの体であることをめざして

新年のお慶びを 申し上げます

2012年1月1日

- | | |
|-------------|-----------------------|
| 宮原良治司教 教区長 | 川上惣一 |
| 福岡教区司祭(叙階順) | 平田三好 |
| 山田成章 | 櫻井尚明 |
| 山頭原太郎 | 青木悟 |
| 田川清美 | 山下正 |
| 三村邦明 | 森山信三 |
| 川添猛 | 中村彰 |
| 平田敬 | 中村信哉 |
| 浦俊雄 | 伊東成晃 |
| 堤好治 | 田中重治 |
| 牧山勝美 | 一ノ瀬輝幸 |
| 竹森勇 | 牧山美好 |
| 渡辺隆義 | 竹内英次 |
| 深堀勝人 | 寺浜亮司 |
| 山元真 | 井手公平 |
| 松井忠之 | 十時伸治 |
| 下町豊重 | 大塚了平 |
| 岩崎康彦 | 谷口尚志 |
| 浦川務 | D・アルビン |
| 杉原寛信 | (Przemyslaw 教区・ポーランド) |
| | C・ピーター 小倉(那覇教区) |
| | パリ外国宣教会 |
| | L・ペリオン |
| | M・レーヌー 北九州支部 |
| | M・コース 美野島司牧センター |
| | G・ブルーニ 黒崎・天神町 |
| | C・ガツザルディ 伊万里 |
| | A・テムベリーニ |
| | L・マネルバ ロザリオの園 |
| | 聖コロンバン会 鹿島・武雄 |
| | H・オカロール 小郡 |
| | E・ホールガン 水俣 |
| | M・オファレル 人吉 |
| | F・マツケイ 鳥栖 |
| | オブレイト会 |
| | E・ウイリアムス 古賀 |
| | C・パキヤナダン 古賀 |
| | R・ロビンソ 古賀 |
| | 古川健一 吉塚・南粕屋 |
| | 聖アウグスチノ修道会 |
| | 遠山満 笹丘 |
| | 今田昌樹 笹丘 |
| | ドミニコ修道会 |
| | G・ミシエル 箱崎 |
| | カプチン・フランシスコ修道会 |
| | M・エドウィン 高宮 |
| | Br橋谷保憲 高宮 |
| | 聖ザベリオ宣教会 |
| | D・マルケット 島崎 |
| | A・ヴァレリオ 島崎 |
| | F・ソットコロノラ 真命山 |
| | 最頼巖流 菊池 |
| | L・フエリベ 島崎 |
| | S・ダニエーレ 真命山 |
| | W・デンニ 手取 |
| | 神言修道会 |
| | S・リチャード 浄水通・茶山 |
| | P・スタン 唐津・多久 |
| | J・サントス 司祭の家 |
| | サン・スルピス司祭会 |
| | 牧山強美 神学院院長 |
| | 高木善行 |
| | Q・ベルナル |
| | 熊川幸徳 |
| | 聖パウロ会 福岡修道院 |
| | 永富久雄 院長 |
| | 夫津木昇 八代 |
| | Br田中直 |
| | Br阿部光一 |
| | イエズス会 福岡修道院 |
| | 増井啓 院長 |
| | Br葉袋勝士 副院長 |
| | 外川直見 |
| | 浦善孝 |
| | J・メディナ |
| | 泉類治 |
| | 櫻井彦孝 |
| | 岡俊郎 純心鹿児島修道院 |
| | 御受難修道会 福岡修道院 |
| | 来住英俊 院長 |
| | 鈴木忠一 |
| | 内山恵介 |
| | B・ガブリエル |
| | Br笹田六合豊 |
| | 日本カトリック神学院福岡 |
| | キャンパス養成者 |
| | 中村吾郎(横浜教区) |
| | 中嶋義晃(さいたま教区) |
| | レズンブートル会 |
| | W・キップス 臨床バスター |
| | ルケア教育研修センター |
| | 淳心会 |
| | C・スメット トラピスチン |
| | チャブレ |
| | ヨゼフ会 |
| | Br床嶋藤吾 あ・うんの家 |

ちよっこ一息



*孫が来ていつもと違う朝が明け
*こころ満たすのに七色もいらぬ虹
坂牧春妙
深堀正平

宣教する人のための講演会

「エポベ」で人々は何を話したか?~宣教スナックの31年~

講演者:進藤重光氏(故G.ネラン神父とともに、新宿で31年間活動した宣教スナック「エポベ」の元代表)

日時:2012年1月22日(日)午後2時~4時/入場料:席上献金

カトリック福岡黙想の家

カトリック御受難修道会・宗像修道院
811-4155 福岡県宗像市名残1056 Tel 0940-32-3222・Fax 0940-32-3385
インターネットで検索 **福岡黙想の家** 検索

ミサ用ワイン

ヴィノ デ ミサ
VINO DE MISA
スイートタイプ(赤)(白)

ご用命 お問い合わせは
有限会社 **大楠酒店**
ヨハネ 青木 彰

〒815-0082 福岡市南区大楠2丁目4番8号
電話 092-531-4718 Fax 092-521-6453

別れ・出逢い・旅立ち

草苑 (SOU-EN)

カトリックのご葬儀
互助会制度もご利用できます。

木下株式会社

TEL 092-526-5656
〒810-0016
福岡市中央区平和3丁目1-5

天草の本渡教会が献堂60周年を祝う 天草市長から感謝状



本渡教会は11月23日に創立60周年を迎え、12月11日に記念ミサと祝賀パーティーがありました。

ミサには本渡教会の信者に加え、大勢参加していただきました。また、天草市の市長、教育長、教育部長、キリシタン館長、天草宝島観光協会会長、聖心幼稚園理事など、地域社会の皆さまにもご

11月27日(日)待降節第1主日に「聖体授与の臨時の聖体奉仕者」の任命式がありました。この日の第一朗読で、「わたしは粘土、あなたは陶工」(イザヤ64・7)が読まれました。この箇所が読まれる日に、聖体奉仕者の任命式があることは偶然ではない気がしてなりません。それはこの箇所が、これから聖体奉仕者として働く私に主が語られる強固で、明確なメッセージだと思えたからです。

地域とともに不動山殉教祭



佐賀地区信徒協主催の不動山殉教者祈念式が、11月13日(日)に佐賀県嬉野市不動山地区の嬉野市営ふれあい体育センターにて開催された。

17世紀の初めキリスト教迫害時代、山一つ隔てた大村藩領から不動山に逃れた末に殉教したキリシタンのための祈念式も今年で20回を数え、昨年に続いて宮原司教の司式によるミサが執り行われた。祈念式には毎年、嬉野市と地元不動山の地区住民の方々に協力をお願いしており、来賓として嬉野市の谷口市長・中島副市長と、日本バプテスト連盟嬉野キリスト教会の藤野牧師が参列した。

谷口市長の挨拶に続いてミサが行われた。ミサの中で宮原司教は「美しい自然環境の参加いただき、聖堂は満員となりました。ミサは渡辺隆義神父様(本渡教会主任司教)と牧山美好神父様(大江・崎津教会主任司教)の共同司式でとりおこなわれました。渡辺神父様は「60年は還暦です。私たちが信仰の原点に帰りましょう。その原点は第二バチカン公会議の精神、天草キリシタンの信仰と新約聖書です。」と語られました。

ミサ終了後は、天草市長より、「本渡教会は天草の観光振興と経済発展に多大なる貢献をした」として感謝状が授与されました。



私は、今回任命された方々の中の最年少でした。私が最年少でしようと、私の知人の聖職者に話していたら、「それはきつと御父のみ旨以外の何物でもない。何故ならば、この奉仕職は、所謂『教会の長老』みたいな人ばかりがなれるような『名誉職』ではないからね」と言われました。確かにその通りです。今回任命された人々は決して偉くなつたわけではありません。

御父からの「司祭の協力をしなさい」という意思を、司教様からの任命という、見えるしるしで頂いた、ただそれだけなのです。聖体奉仕者の任命。これによって、陶工である司祭の私に、粘土である奉仕者の私に、いかに柔軟に依っていかれるかが、私個人の課題であり、御父から私に与えられた宿題でもある様な気がします。

西新教会信徒 山本 晃大

今年度の一致祈禱集への「おさそい」を掛けさせていただきありがとうございます。2012年のキリスト教一致祈禱集は、1月22日(日曜日)18時から、カテドラル大名町教会で行われます。

表者が共同司式します。今年度の一致祈禱集の特色は、今年度の草案担当の国ポーランドのクリスマスの慣行で、「オプワテク」の分かち合いです。ポーランドでは、クリスマスの時期、家庭や教会で集まる人々は、「オプワテク」という特別なウエハースを割って分け合い、愛と救いのしるしとして、互いを祝福するのです。1月22日の祈禱会においても、平和のあいさつの時、同じキリスト者の広い家族の一員としてこの儀を行います。

京都教区が毎年行っている聖書講座の「聖書シリーズ9」として2005年に行われたものを抜粋。マタイ福音書は、洗礼を受けた人に信仰共同体の一員として生きていくために、イエスが告げた神の国の使信を整理してカテケシスしてくれまます。本書を通して、「本物の信仰」によって召命を生きる「本物の信者」になるよう、自らの信仰を見直し、信仰の成熟を目指します。なお、聖書講座シリーズ既刊本もサンパウロから発行されています。

☆「マタイ福音書を読む」
京都司教区聖書委員会編
マタイ福音書を読む
マタイ福音書を読む
マタイ福音書を読む

みこころ幼稚園ホールでのパーティーでは、信徒手づくりの60周年記念誌が配られたあと、フィリピン信徒たちのパンブーダンスやアメリカ信徒たちによるバンジョーの演奏があり、国際色豊かなパーティーとなりました。

本渡教会は1951年聖コロンバン会の神父様により創立されて以来一貫して、行政や地域社会と協力関係にあります。この伝統を引き継ぎ、これからも地域に貢献する教会でありたいと思います。

本渡教会信徒会長 徳永 至記

12月6日(火)、福岡地区婦人会恒例の「ポランティア研修会」がカトリック大名町教会で行われた。今年度は「楽しい介護の予備知識」というテーマで養護老人ホーム聖母園施設長シスター萩原(カトリック愛善会)による講話が行われた。

福岡教区地区婦人会の「ポランティア研修会」
ど、高齢者の特性について、老化により起こってくる様々な症状や性格の変化、また認知症など事例をとりあげた分かりやすい解説であった。介護をする側について、そのストレスの解消は、家族に向けて友人と食事をした好きなことをして気分転換を外でするのが家庭圓滿でいい介護という話に、会場にも納得の笑顔が広がった。

聖母園では年間を通じてミサやカトリックの行事がおこなわれていること、入所の相談も随時受け付けている、希望者はホームにお問い合わせください」と話した。

地区婦人会では長年この「聖母園」でのポランティア活動を「ポランティアモニカ会」として続けているが、活動者の高齢化、減少もあり、「ポランティア」に参加することによって学ぶことがたくさんありますので勇気をだして一度参加してみませんか?という担当役員からの声かけも行われた。

ユーマアとおかしみの漂う少年の心と、深い洞察に満ちた世界的老哲学者の思索と瞑想から湧き出た文明論。魂は洗われなくてはならない。魂を洗う水は己の涙しかない……

涙を忘れて……
今道友信・著
サンパウロ発行
税込定価 1470円

株式会社 ジャパン・スマイル
TEL 092-761-8800
http://www.jp.smile.com/

FPC 福岡プライマリケア訪問看護ステーション
自宅で療養されている方、在宅で看取りたい方、精神障害の方など、病気について、介護方法について専門的指導や援助が必要な方はご相談ください。

総合建築業
森山工務店
ヨゼフ 森山 新太郎
福岡市早良区四箇1丁目15番28号

キリスト教書局・信託文具・ビデオ・DVD・CD
セント・ポール FUKUOKA
TEL 092-741-8888

救いの秘儀を知り、追体験し、生き、伝える

2012年福岡地区聖書講座

テーマ：福音 ～イエスとの出会い『マルコによる福音書』
日時：1月15日(日) マルコ福音書を読むために
講師：森山信三神父(西新教会主任司祭)
場所：カトリック大名町教会1階講堂
主催：福岡地区信徒使徒職協議会 聖書典礼部会

2012年度北九州地区聖書講座

日時：1月29日(日) 14:00～16:30
講師：ベリオン神父(行橋教会主任)
場所：カトリック小倉教会
主催：北九州地区信徒協・聖書部会
問合せ先：☎093・293・4981 松尾

2011年 熊本地区神学講座

イエスを知り、イエスに生き、イエスを伝えよう
～希望 喜びをもたらすミサ～

第5回：1月15日(2011年最終回)
内容：講話とミサ
講師：ドミニコ宮原良治司教
会場：カトリック手取教会 13時半～16時半

聖書に集う会

毎月1回、「聖書に集う会」を開催します。集いの一貫したテーマは「聖書」です。参加者の皆様には、あらかじめ自分の疑問、質問、解釈、見解などをご用意いただけたらと思います。聖書に関することなら何でも結構です。初回のキーワードは『福音書』です。福音書に関して一言ご用意ください。

日時：2012年1月10日(火) 19時～20時30分
テーマ：福音書って何?
場所：サンパウロ福岡宣教センター1階会議室
講師：鈴木信一神父(聖パウロ会司祭)
対象：19歳以上 どなたでも
参加費：200円
持参品：新約聖書(出版社不問)
申込：不要(途中参加可)
1月以降の日程
・2月13日(月) ・3月5日(月) ・4月16日(月)
*5月以降は毎月第1月曜日
アクセス：地下鉄「赤坂」駅下車徒歩2分
/西鉄バス「法務局前」
連絡先：092・721・2032(平日10:00-18:00)

福岡地区エキュメニカル推進の集い 第4回

日時：2012年1月29日(日) 15時～18時
場所：大名町教会、1階信徒会館
対象：福岡地区の信徒の方(興味のある方)
第一部：特別養成(講演会に参加)
内容：『私が望む教会と社会との関わり』
講師：梅崎浩二牧師(日本基督教団)
第二部：開会(祈りと種々の報告)
第三部：活動協議事項(東日本大震災一周年など)

募集中 第50回クルシリヨ開催のご案内

日程：2012年5月4・5・6日
場所：福岡黙想の家
指導司祭：竹森勇神父(水巻教会)
参加費：12,000円
申込期限：2012年3月20日厳守
連絡先：☎093-592-0316 徳永哲
主催：福岡教区クルシリヨ担当

福岡教区広報室アドレス
http://fukuoka.catholic.jp
E-mail: cdf-kouhou@nifty.com

4ヶ月の研修を終えて帰国しました。教区編集の仕事を戻りました。支えて下さった皆様、に感謝します。研修の成果は、次号から分ち合っています。
は、次号から分ち合っています。
きたいと思えます。未曾有の災害が起った昨年、被災者のために祈るとともに今後、継続的に私たちに出来ることを考えていきたいですね。今年も皆様が手にとって読んで励みいただけるような紙面作りをご協力をお願いします。

編集後記

福岡黙想の家のご案内 1月

1日(日)～3日(火) 休館
6日(金)～8日(日) 産業医科大学セミナー
21日(土)～30日(月) 長崎純心聖母会修練院黙想会
22日(日) 「エポバ」講演会 14時(詳細は2面下)
2月
4日(土)～5日(日) 在俗カノッサ会黙想会
10日(金)～11日(土) 聖マリア在俗会黙想会
〒811-4155 福岡県宗像市名残1056
☎0940・32・3222 ☎0940・32・3385
Email: fmokuso@mvi.biglobe.ne.jp
インターネットで検索 福岡黙想の家 検索

真命山諸宗教対話・靈性交流センター

※祈りの集い
年間テーマ：御聖体、愛の秘蹟
・日時：1月12日(木) 10時～14時半
・内容：愛の秘蹟であるご聖体
指導者：フランコ・ソットコルノラ神父(真命山院長)
ダニエレ・サルツィ・サルトリ神父
Sr.マリア・デ・ジョルジ
問合せ先：真命山諸宗教対話・靈性交流センター
・次回：2月9日(木) 信仰の神秘
☎0968・85・3100 ☎0968・85・3186・玉名郡和水町蜻浦
1391-7・E-mail shinmeizan@chive.ocn.ne.jp

カテドラルでのゆるしの秘跡

日時：1月7日、1月21日、2月4日 10時～12時
場所：カトリック大名町教会小聖堂

福岡結核準備講座
(日時) 1月14日(土) から2月11日(土) 18時半～21時の毎週土曜日の全5回(場所) カトリック大名町教会(参加費) カップルで1万円(問合せ先) ☎092・741・3687
★原則お二人で参加
■在世フランスシスコ会集會(日時) 1月15日(日) 14時から16時(場所) 高宮フランシスコ会修道院在世会集會所(指導) エドウィン神父(高宮教会主任)(問合せ先) ☎092・843・5831
岩崎
■心の健康セミナー(日時) 1月15日(日) 14時より(場所) カトリック福岡黙想の家
■聖霊による刷新福岡祈りの集い(日時) 1月9日(月)より毎週月曜11時から12時30分(場所) 大名町教会1階(内容) 賛美と感謝の祈り・聖書の分かちあい(問合せ先) ☎092・821・6349
森
■福岡ホスピスの会勉強会(日時) 1月8日(日) 14時から(場所) カトリック大名町教会(内容) ホスピスからのたより(講師) 植木昭代氏(那珂川病院緩和ケア病棟棟長)(参加費) 一般千円・会員500円(問合せ先) ☎092・874・6321
深堀
■福岡結核準備講座(日時) 1月14日(土) から2月11日(土) 18時半～21時の毎週土曜日の全5回(場所) カトリック大名町教会(参加費) カップルで1万円(問合せ先) ☎092・741・3687
★原則お二人で参加
■在世フランスシスコ会集會(日時) 1月15日(日) 14時から16時(場所) 高宮フランシスコ会修道院在世会集會所(指導) エドウィン神父(高宮教会主任)(問合せ先) ☎092・843・5831
岩崎
■心の健康セミナー(日時) 1月15日(日) 14時より(場所) カトリック福岡黙想の家

想の家ログハウス(内容) 救いについて2(指導者) 小宮豊氏(精神科医師)(参加費) 原則無料(自由献金)(主催) 心の健康セミナーを支える会(問合せ先) ☎0940・3032・1173
矢田
■グレゴリオ聖歌を歌う会(日時) 1月17日(火) 11時(場所) 聖クララ寮(福岡市南区塩原)(内容) 聖母賛歌(問合せ先) ☎096・380・5686
堺敬子
■第55回福岡典礼聖歌研修会(日時) 2月19日(日) 14時から16時(場所) カトリック大楠教会(内容) 聖週間の典礼聖歌(講師) 深堀純氏(参加費) 感謝献金(問合せ先) ☎092・541・3730
松山
■美野島司牧センター
あなたの勇気が路上の命を支えます! ●ホームレスの方に手作りのお昼ごはん毎火曜日10時30分 ●越冬ホームレス支援夜回り第1金曜日20時 ●路上からアパートに入居した方を訪問第3土曜日13時(問合せ先) ☎092・431・1419
コース神父
■合唱団員募集(日時) 毎月第3土曜日13時半～16時半(場所) カトリック西新教会(指導者) 毎月橋本富美氏。3・4ヶ月に1度 新垣玉敏氏(会費) 二千円(問合せ先) ☎0940・335423
橋本

北九州
■北九州召命を共に祈る会(日時) 1月12日(木) 14時から(場所) カトリック小倉教会(内容) ミサとミーティング(指導) 井手公平神父(門司教会主任)(問合せ先) ☎0949・24・9905
藤井
■小倉祈りの集い(日時) 1月27日(金) 13時30分(場所) カトリック小倉教会信徒会館2階(指導) ガブリエル神父(御愛難念)(内容) 『みことばを味わう』 賛美と感謝の祈り(連絡) ☎090・3985・5209
松田
佐賀
■佐賀祈りの集い(日時) 1月7日(土) 10時。毎月第1土曜日(場所) 佐賀カトリック会館(内容) ミサと祈り(問合せ先) ☎0952・30・8347
吉武
熊本
■熊本地区召命を共に祈る会(日時) 1月19日(木) 11時(場所) カトリック健康教会(問合せ先) 健康教会 ☎096・368・2825
青木悟神父
■熊本結婚準備講座(日時) 1月21日(土) から2

長崎祈りの家 黙想会のご案内
テーマ：みことばから自分の生き方をみつけよう。友だちといっしょに。
日時：2012年2月18日(土) 11時集合～19日(日) 大山教会巡礼 16時解散予定
指導者：ディアス師(イエズス会士)
対象者：どなたでも
場所：長崎祈りの家(イエズス会立山修道院)
参加費：1泊2日7000円(4食・巡礼交通費含)
詳細問合せ先：☎095-821-4577 Sr. 中島

震災のための祈りリレー
(日時) 2012年1月11日(水)
7:00 ミサ聖祭～
19:00 夕の祈り
(場所) 日本聖公会福岡聖ペトロ教会(福岡市中央区草香江)
(問合せ先) fr5abe19ko@yahoo.co.jp
Br. 阿部光一(聖パウロ会)
*どの時間帯も参加自由

月25日(土) 19時～21時半
毎週土曜日の全5回(場所) カトリック手取教会(参加費) カップルで1万円(問合せ先) ☎096・352・3030
瀬096・352・1515
■カトリック看護協会福岡支部の集まり(日時) 1月8日(日) 14時30分(場所) 聖心病院(問合せ先) ☎096・352・7181
Sr.竹内

COSMOS
スポーツ用品・OA・文具
〒830-1224 三井郡大刀洗町鶴木67-3
TEL 0942-77-3199
代表者 ベトロ 平田 清

社会医療法人 雪の聖母会
聖マリア病院
医科・歯科臨床研修指定病院
総合産産期医療センター
がん診療連携拠点病院
地域医療支援病院
地域災害拠点病院
救命救急センター
〒830-8543
福岡県久留米市津福本町422
TEL0942-35-3322(代表)
FAX0942-34-3115
http://www.st-mary-med.or.jp

痛みの相談室
いくま整骨院
受付時間
平日：9:30～12:00
14:30～20:00
土曜：9:30～15:00
休診：日曜・祝祭日
福岡市西区姪浜駅南1-7-12-2F
TEL 092-884-0134
ペトロ 生熊 公吉

神の母聖マリア、世界の平和のために今もいつまでもお祈りください
明けましておめでとうございませう
1月5日より営業いたします。
メディアによる福音宣教のために...
サンパウロ福岡宣教センター
10:00～18:00(月～土) / 日・祝日休業 / 地下鉄赤坂駅より徒歩3分 * 駐車場完備
〒810-0042 福岡市中央区赤坂1-14-26 ☎092-721-2032 fax.739-3930